

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 西日本鉄道株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 9031 URL <https://www.nishitetsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 林田 浩一  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・CS推進部広報課長 (氏名) 熊井 強 (TEL) 092-734-1217  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	253,515	35.0	11,527	—	13,169	—	8,782	—
2022年3月期第2四半期	187,727	24.2	374	—	605	—	1	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 15,998百万円( —%) 2022年3月期第2四半期 704百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	111.47	111.17
2022年3月期第2四半期	0.01	0.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	669,770	193,093	27.8
2022年3月期	734,500	179,084	23.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 186,217百万円 2022年3月期 172,593百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		12.50		17.50	30.00
2023年3月期		15.00			
2023年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	495,800	16.1	20,000	91.4	20,500	46.9	12,800	29.6	162.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	79,360,186株	2022年3月期	79,360,186株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	562,631株	2022年3月期	588,852株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	78,784,863株	2022年3月期2Q	78,807,944株

(注) 自己株式数については、役員向け株式給付信託に残存する当社株式 (2023年3月期2Q : 243,225株、2022年3月期 : 244,266株) を含めて記載しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
営業収益	187,727	253,515	65,788	35.0%
営業利益	374	11,527	11,152	—
経常利益	605	13,169	12,564	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1	8,782	8,781	—

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、物流業における国際物流事業で運賃原価の高止まりによる販売価格の増加や、運輸業やレジャー・サービス業で新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことなどにより前年同期からは需要が回復したことから2,535億1千5百万円（前年同期比 35.0%増）となり、これに伴い、営業利益は115億2千7百万円（前年同期は営業利益3億7千4百万円）となりました。

経常利益は、円安の進行等による為替差益の増加などにより131億6千9百万円（前年同期は経常利益6億5百万円）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は87億8千2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

前第3四半期連結会計期間の期首に、吸収分割を伴う連結子会社の組織再編を実施し、一部連結子会社の事業において、セグメントの区分を変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益又は営業損失（△）			
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
運輸業	30,019	34,625	4,605	15.3%	△3,931	△782	3,148	—
不動産業	31,613	29,368	△2,245	△7.1%	3,193	2,507	△685	△21.5%
流通業	34,286	34,110	△176	△0.5%	153	△304	△457	—
物流業	77,560	135,990	58,429	75.3%	4,763	11,199	6,435	135.1%
レジャー・サービス業	8,982	13,890	4,907	54.6%	△4,244	△1,185	3,059	—
小計	182,463	247,985	65,521	35.9%	△65	11,433	11,499	—
その他	13,521	14,457	935	6.9%	504	299	△204	△40.5%
調整額	△8,257	△8,926	△668	—	△63	△205	△142	—
連結	187,727	253,515	65,788	35.0%	374	11,527	11,152	—

**①運輸業**

鉄道事業及びバス事業では、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により前年同期からは需要が回復し増収となりました。その結果、運輸業の営業収益は346億2千5百万円（前年同期比 15.3%増）、営業損失は7億8千2百万円（前年同期は営業損失39億3千1百万円）となりました。

なお、旅客人員は鉄道事業で 10.5%増（前年同期比）、バス事業（乗合）で 6.1%増（前年同期比）となりました。

**②不動産業**

賃貸事業では、商業施設の賃貸収入が回復したことなどによる増収の一方、住宅事業では、分譲マンション販売戸数の減少などにより減収となりました。これらの結果、不動産業の営業収益は293億6千8百万円（前年同期比 7.1%減）となりました。営業利益は、住宅事業での粗利の減少などにより25億7百万円（前年同期比 21.5%減）となりました。

なお、分譲販売区画数は244区画（前年同期比 107区画減）となりました。

**③流通業**

ストア事業では、新規店舗が増収に寄与する一方、物価上昇による節約志向の高まりなどを受け、既存店売上が減少したことなどにより減収となりました。これらの結果、流通業の営業収益は341億1千万円（前年同期比 0.5%減）となりました。営業損益は、ストア事業での仕入価格の高騰などによる粗利率の減少もあり3億4百万円の営業損失（前年同期は営業利益1億5千3百万円）となりました。

**④物流業**

国際物流事業では、運賃原価の高止まりによる販売価格の増加などにより増収となりました。その結果、物流業の営業収益は1,359億9千万円（前年同期比 75.3%増）、営業利益は111億9千9百万円（前年同期比 135.1%増）となりました。

国際貨物取扱高は、航空輸出で 6.1%減（前年同期比）、航空輸入で 1.7%減（前年同期比）、海運輸出で 15.7%増（前年同期比）、海運輸入で 10.9%増（前年同期比）となりました。

**⑤レジャー・サービス業**

ホテル事業では、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により前年同期からは稼働が上昇し増収となりました。その結果、レジャー・サービス業の営業収益は138億9千万円（前年同期比 54.6%増）、営業損失は11億8千5百万円（前年同期は営業損失42億4千4百万円）となりました。

**⑥その他**

車両整備関連事業での受注減等による減収の一方、建設関連事業での大型工事の受注による増収などによりその他の営業収益は144億5千7百万円（前年同期比 6.9%増）となりました。営業利益は、金属リサイクル事業での販売数量の減少や車両整備関連事業での粗利の減少などにより2億9千9百万円（前年同期比 40.5%減）となりました。

(セグメント別損益概況)

(単位:百万円)

	営業収益				営業利益又は営業損失(△)			
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)
運輸業	30,019	34,625	4,605	15.3	△3,931	△782	3,148	-
鉄道事業	8,150	9,341	1,191	14.6	△418	248	667	-
バス事業	20,917	23,687	2,769	13.2	△3,094	△1,083	2,010	-
(バス事業実質)※1	(19,111)	(21,952)	(2,840)	(14.9)	-	-	-	-
他	4,845	5,649	803	16.6	△445	14	459	-
調整額	△3,894	△4,053	△159	-	27	37	10	-
不動産業	31,613	29,368	△2,245	△7.1	3,193	2,507	△685	△21.5
賃貸事業	11,922	12,223	301	2.5	2,458	2,360	△97	△4.0
住宅事業	15,698	13,423	△2,275	△14.5	341	△87	△429	-
他	5,986	5,798	△188	△3.1	392	266	△126	△32.2
調整額	△1,995	△2,078	△82	-	0	△32	△32	-
流通業	34,286	34,110	△176	△0.5	153	△304	△457	-
ストア事業	32,068	31,699	△369	△1.2	163	△257	△421	-
生活雑貨販売業	2,227	2,411	183	8.3	28	14	△14	△49.7
調整額	△9	△0	9	-	△39	△61	△22	-
物流業	77,560	135,990	58,429	75.3	4,763	11,199	6,435	135.1
国際物流事業	81,273	144,710	63,436	78.1	4,696	11,225	6,528	139.0
国内物流事業	5,285	5,206	△78	△1.5	183	62	△120	△66.0
調整額	△8,998	△13,926	△4,927	-	△115	△88	27	-
レジャー・サービス業	8,982	13,890	4,907	54.6	△4,244	△1,185	3,059	-
ホテル事業	6,893	11,555	4,662	67.6	△3,833	△1,773	2,059	-
(ホテル事業実質)※2	(3,189)	(6,557)	(3,368)	(105.6)	-	-	-	-
旅行事業	594	1,103	509	85.8	△405	△21	383	-
娯楽事業	1,893	2,207	313	16.6	221	552	330	149.4
他	3,754	4,595	840	22.4	△232	32	265	-
調整額	△4,153	△5,571	△1,418	-	5	24	19	-
小計	182,463	247,985	65,521	35.9	△65	11,433	11,499	-
その他	13,521	14,457	935	6.9	504	299	△204	△40.5
調整額	△8,257	△8,926	△668	-	△63	△205	△142	-
連結	187,727	253,515	65,788	35.0	374	11,527	11,152	-

※1 バス事業の営業収益は内部取引を除くと14.9%の増となります。

※2 ホテル事業の営業収益は内部取引を除くと105.6%の増となります。

(数量等)

## ①鉄道旅客人員・旅客収入(運輸業)

	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
旅客人員	千人	42,967	47,458	4,491	10.5
定期外	千人	15,879	19,023	3,144	19.8
定期	千人	27,088	28,435	1,347	5.0
旅客収入	百万円	7,758	8,896	1,137	14.7
定期外	百万円	4,099	5,109	1,009	24.6
定期	百万円	3,658	3,786	127	3.5

## ②乗合バス旅客人員・旅客収入(運輸業)

	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
旅客人員	千人	98,985	105,023	6,038	6.1
定期外	千人	52,065	59,004	6,939	13.3
定期	千人	46,920	46,019	△ 901	△ 1.9
旅客収入	百万円	16,945	19,557	2,612	15.4
定期外	百万円	11,741	14,147	2,405	20.5
定期	百万円	5,203	5,410	206	4.0

## ③分譲販売区画数(不動産業)

	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
分譲販売区画数	区画	351	244	△107	△30.5
マンション	戸	260	166	△94	△36.2
戸建	区画	88	74	△14	△15.9
リノベーション	戸	3	4	1	33.3

## ④国際貨物取扱高(物流業)

	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
航空輸出	千トン	72	68	△ 4	△ 6.1
航空輸入	千件	196	192	△ 3	△ 1.7
海運輸出	千TEU	45	52	7	15.7
海運輸入	千TEU	64	71	7	10.9

## ⑤国内宿泊主体型ホテル客室単価、稼働率、Rev PAR(レジャー・サービス業)

	単位	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
客室単価	円	6,656 (6,759)	7,807 (7,807)	1,151 (1,048)	17.3 (15.5)
稼働率	%	29.5 (29.5)	64.8 (64.8)	35.3P (35.3P)	-
Rev PAR	円	1,965 (1,994)	5,058 (5,058)	3,093 (3,064)	157.4 (153.7)

( )内は、既存ホテル数値:当期および前期のいずれにも営業していたホテルを対象

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間末	増減
資産合計	734,500	669,770	△64,730
負債合計	555,416	476,676	△78,740
純資産合計	179,084	193,093	14,009
有利子負債	347,793	338,061	△9,732

(注)有利子負債は、借入金 + 社債により算出しています。

資産は、鉄道事業における天神大牟田線連続立体交差事業の一部完了に伴い、前受金として計上してきた工事負担金を取得した固定資産の取得原価から直接減額したこと等により、前連結会計年度末に比べ647億3千万円減少し、6,697億7千万円となりました。

負債は、鉄道事業における天神大牟田線連続立体交差事業の一部完了に伴う前受金の減少や有利子負債の減少等により、前連結会計年度末に比べ787億4千万円減少し、4,766億7千6百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ140億9百万円増加し、1,930億9千3百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績および各事業セグメントの今後の見通しを踏まえ、2022年8月10日公表の内容から変更しています。

詳細につきましては、本日(2022年11月10日)公表いたしました「業績予想数値と実績値との差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	70,828	66,287
受取手形、売掛金及び契約資産	59,077	58,689
販売土地及び建物	58,980	61,116
商品及び製品	3,839	4,227
仕掛品	258	499
原材料及び貯蔵品	2,019	2,028
その他	16,634	21,825
貸倒引当金	△215	△263
流動資産合計	211,422	214,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	187,495	193,490
機械装置及び運搬具（純額）	14,602	13,536
土地	129,278	131,450
建設仮勘定	99,130	19,167
その他（純額）	7,383	7,971
有形固定資産合計	437,890	365,616
無形固定資産		
のれん	429	417
その他	3,597	3,764
無形固定資産合計	4,026	4,181
投資その他の資産		
投資有価証券	47,523	50,296
退職給付に係る資産	4,040	4,094
繰延税金資産	11,706	11,103
その他	18,232	20,401
貸倒引当金	△342	△335
投資その他の資産合計	81,160	85,561
固定資産合計	523,077	455,359
資産合計	734,500	669,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,119	38,155
短期借入金	48,898	49,771
1年内償還予定の社債	-	7,000
未払消費税等	1,496	1,041
未払法人税等	1,478	2,573
前受金	76,423	4,862
賞与引当金	4,583	5,715
その他の引当金	169	102
その他	26,226	26,732
流動負債合計	198,394	135,956
固定負債		
社債	152,000	145,000
長期借入金	146,895	136,289
繰延税金負債	1,572	1,098
その他の引当金	454	505
退職給付に係る負債	22,913	23,023
長期預り保証金	27,740	29,334
その他	5,445	5,468
固定負債合計	357,021	340,719
負債合計	555,416	476,676
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	26,157	26,157
資本剰余金	12,608	12,608
利益剰余金	127,430	134,808
自己株式	△1,278	△1,208
株主資本合計	164,918	172,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,544	6,662
繰延ヘッジ損益	△591	△259
為替換算調整勘定	1,227	6,992
退職給付に係る調整累計額	492	455
その他の包括利益累計額合計	7,674	13,851
新株予約権	405	357
非支配株主持分	6,085	6,519
純資産合計	179,084	193,093
負債純資産合計	734,500	669,770

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業収益	187,727	253,515
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	173,094	227,362
販売費及び一般管理費	14,258	14,626
営業費合計	187,352	241,988
営業利益	374	11,527
営業外収益		
受取利息	14	66
受取配当金	502	685
為替差益	186	1,365
雑収入	1,942	985
営業外収益合計	2,645	3,103
営業外費用		
支払利息	1,088	1,106
持分法による投資損失	917	292
雑支出	408	63
営業外費用合計	2,414	1,461
経常利益	605	13,169
特別利益		
固定資産売却益	1,121	68
受託工事金受入額	-	74,926
工事負担金等受入額	14	472
その他	0	1,411
特別利益合計	1,136	76,879
特別損失		
固定資産圧縮損	14	73,648
固定資産除却損	-	2,887
減損損失	147	5
投資有価証券評価損	89	-
その他	0	-
特別損失合計	251	76,541
税金等調整前四半期純利益	1,490	13,507
法人税、住民税及び事業税	1,294	3,876
法人税等調整額	△204	36
法人税等合計	1,089	3,913
四半期純利益	400	9,594
非支配株主に帰属する四半期純利益	399	812
親会社株主に帰属する四半期純利益	1	8,782

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	400	9,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,658	117
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	1,021	3,813
退職給付に係る調整額	△17	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	959	2,511
その他の包括利益合計	303	6,404
四半期包括利益	704	15,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259	14,959
非支配株主に係る四半期包括利益	444	1,039

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・ サービス業	計			
営業収益	30,019	31,613	34,286	77,560	8,982	182,463	13,521	△8,257	187,727
セグメント利益 又は損失(△)	△3,931	3,193	153	4,763	△4,244	△65	504	△63	374

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業及び金属リサイクル事業を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△63百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理費△381百万円及びセグメント間取引消去額317百万円です。

3. 上記のセグメント情報は、連結子会社の組織再編に伴い変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・ サービス業	計			
営業収益	34,625	29,368	34,110	135,990	13,890	247,985	14,457	△8,926	253,515
セグメント利益 又は損失(△)	△782	2,507	△304	11,199	△1,185	11,433	299	△205	11,527

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業及び金属リサイクル事業を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△205百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理費△393百万円及びセグメント間取引消去額187百万円です。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間の期首に、収益力の拡大を図るため、「レジャー・サービス業」の(株)西鉄プラザが行っていた飲食事業を「流通業」の(株)西鉄ストアに承継させる吸収分割を実施しました。この組織再編に伴い、従来(株)西鉄プラザが行っていた飲食事業は「レジャー・サービス業」から「流通業」へ変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。